

雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会
会議録（雫石公民館開催分）

平成25年11月6日

雫石町教育委員会

平成25年11月6日雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会を開催した。

場 所 雫石公民館会議室

時 間 19時00分～20時20分

1. 出席者

一般住民 4人

報道関係者 1人（盛岡タイムス社）

2. 事務局から説明のために出席した職員

雫石町教育委員会教育委員長 上 野 宏

雫石町教育委員会教育長 吉 川 健 次

雫石町教育委員会学校教育課長 高 橋 啓 二

雫石町教育委員会学校教育課主査 田 辺 茂

3. 書 記

雫石町教育委員会学校教育課主任 坂 井 一 博

4. 開会宣言

田辺主査 時間ですので、雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会を始めます。はじめに教育委員長から。

委員長 今日からいよいよ説明会のスタート。沢山の人に聞いていただき、進めたい。少子化の波が押し寄せ、全国同様、雫石町の児童数も予想以上のスピードで急激に減少。平成 24 年度、雫石町全体で 852 名の児童数が 30 年度の試算だと 698 名に。それに伴い、町内 10 小学校で複式学級を有する学校が半数以上の 6 校。複式学級とは 2 学年以上の子供達と同じ教室で学級として活動。少人数なので先生の目が行き届く、和やかな雰囲気での学習、と良い点もあるが逆に言うと、友達の色々な考えを聞き、幅広い視野で意見を戦わせて自分の考えを鍛えることが、少人数だと出来にくく集団での教育活動が出来ない。また、2 学年の学習で先生の直接指導が半分の時間に制限される。子供達が学び合う点から見ると大きなマイナス。21 世紀の今、特に子供達に求められる能力は、まさに様々な考えを聞き、それを元に自分の考えを作り、発表していく力。学習集団として磨き合い、鍛え合える児童数を有する学級が必要。

そこで、従来の 10 小学校を見つめ直し、適正な規模にと平成 24 年度小学校適正配置検討委員会を設置、2 月に提言書をいただいた。提言書を踏まえ、教育委員会で 6 回会議を重ね、検討した結果がこの計画書。私共は、子供達の教育環境をよりよいものに整えることを第一に考える。質問や前向きなご意見をいただき、基本計画をよりよいものに出来れば大変ありがたい。

田辺主査 [事務局紹介]

4. 説明。雫石町立小学校適正配置基本計画について学校教育課長から。

学教課長 最初にお詫びを申し上げます。広報のお知らせ版で周知したが、それでは不足で参加いただける人数が非常に少なかった。周知の方法が良くなく、広報を見ない人が多いと感じ取った。雫石小 PTA で、もし適正配置について協議したい、話し合いたいとなった場合、場を設置していただければこちらで対応する。今回は、雫石小学区については対象外なので気にしなかった方もおられると思うが、興味がある方もおられる。その都度説明したいと考えている。

[以下、適正配置基本計画を資料に沿って朗読し、内容の説明。]

田辺主査 6. 質疑。基本計画に関わり、質問、ご意見を賜りたい。挙手で発言をお願いします。

参加者 簡単にお聞きしたい。現在、中学校の耐震工事が行われているが、中学校の建築年数が大体 40 年経過。小学校を考えると、下長山小は新しいが御明神小は大体 33 年経過。耐震工事は、終了しているか。

学教課長 耐震の二次診断は、御明神小と雫石中で実施済み。御明神小は、耐震性は問題

なく、耐震補強は必要なしと診断された。雫石中は、耐震補強が必要となった。

参加者 統合で増改築、教室増という事項があるが、これは28年4月までに完了予定か。

学教課長 まず、普通教室なり特別教室が不足については、下長山小の図工室が足りなくなる。ただ、別部屋があるのでそこを改築して図工室を整備する。不足はそこだけで、他学校の不足はない。ただ、安庭小の体育館は非常に古いので徐々に検討したい。全て27年度ではなく、まず統合で最低限必要な教室を確保することで進めたい。

参加者 私は、雫石小と同じく統合しない七ツ森小の関係者なのであまり色々考えないが、28年4月まで、その増改築の予算の関係等を見積もり、3年間で完了できるか。

学教課長 増改築については、今のところ下長山小のみ。それほど費用はかからないと考えている。体育館の建て替えは、かなり費用がかかると見て、町の財政担当と検討し、すぐにではなく中期的な視点に立って改築していきたい。

参加者 気にかかるのが、町政懇談会でもこの問題について話が出た。一つはスクールバス関係。詳細はわからないが、生徒さんのことを考えて父兄が心配している発言が地域の方からあった。父兄に心配をかけないように手配しながら進めてほしい。

学教課長 広い雫石町、学校統合となると、やはりスクールバスの問題は当然配慮すべき重要部分。基本計画内にもあるが、まず児童の登下校の負担をかけないように形で、スクールバスの運行をしたいと考えている。

参加者 例えば、七ツ森小での質問内容を見たら、一定の距離から少し出たから利用できないとか話があった。そうならないよう生徒が上手く利用出来るよう考えてもらえればと感じている。多分関係者から同じような質問が今後出ると思う。

学教課長 特に七ツ森小学区の場合は、中学校のスクールバス関係で度々質問が出る。利用する生徒が増えたことで、マイクロバスから大型バスに変え、定員を増やして運行。中学校の場合は6km以上で制限したものを5km以上にして定員数まで対象距離を縮めて乗車させている。それを超えると逆に多くなり2台必要になる。ご理解いただきたい。小学校の場合は出来るだけそういった部分がないよう運行したい。

参加者 予算的な措置はこの3年でどうなるか試算はしていると思うが、説明会で各地から色々な意見が出れば変わるだろうから、配慮をお願いしたい。

学教課長 色々な意見をいただきながら出来るもの、出来ないものを整理し、あとは理解を得ながら予算措置をしていきたい。まず意見を出していただき、それらを提示しながら適正配置の理解を得られるよう進んでいきたい。

参加者 お願いします。雫石小PTAは、私1人の参加で非常に残念。雫石小と七ツ森小以外にはPTAにも声掛けするようお願いしたと聞いた。雫石小と七ツ森小は対象外ではあるが、次回は同じように案内をして欲しい。今日の説明会の件でまた場を

設けると結構な労力を使う。1回で済むのであれば、そういったところ配慮お願いします。

学教課長 今回は、配慮の欠けている部分が多々あり、申し訳なかった。広報を見ない方もおり、広報だけが周知方法として捉えられない。HPにも掲載済だがそれも駄目。やはりペーパー等、何らかの形でないと。PTAを通すとか配慮が欠けていたことに関してはお詫びします。以後、気をつけて運営致したい。

参加者 平成18年も学校統合について説明会を実施。平成28年とすれば約10年の期間。かたや町の人口は想定以上の減少。現状を捕まえた体制構築、もっと大変なこととして考えるべき。いずれ七ツ森小も児童数が減り、その想定内に入っていることが町政懇談会でも出たし、保護者も心配している。学校別に児童数を見ると0人もある。入学式、卒業式ができない。果たして指導する立場から行事を体験出来ないことはいいものか。私は、疑問を感じる。雫石町の教育行政の在り方として、こういった制度を作って育成することが億劫であると感じる。児童数が、想定外で今年は809人と。昨年と比べると50人位減。この減少傾向を捉え、28年とは言わず出来るところから体制構築を来年に打ち出し、その体制に応じた学校から時期を待たずして統合すべき。例えば、私もたまたま団体競技に伺う機会があるが気の毒。参加出来ない学校は、チームプレイでも団体でも不参加。団体競技は限られたチームしか出ない。現実としてあるので体制の整えられたところから始めるようお願いしたい。

学教課長 橋場小と大村小では入学式、卒業式が出来ない年がこれからもある。子供の成長過程ではかなり影響があると思われる。改善のためにも出来るだけ早く統合すべきとも思う。時期は、各学校で統合の理解を得れば28年4月1日までだが、準備が整い次第統合の方向で進めたい。それから団体競技等について、一番気になるのは、過小規模の6年生の子供達が団体競技が出来ないこと。やったとしても1、2年生を相手に自分の力を出せない。学校の体育も子供達に影響が出るといった部分もあるかと。それらを踏まえ、出来るだけ理解をいただき、適正配置を進めたい。

参加者 人生の貴重な1ページとして入学式、卒業式がある。当たり前前の行事かも知れないが、経験しない子供から見たら生涯に渡って感じるものがあるのでは。

参加者 28年度まで加味をしてとりあえず一段落すると思うが、数年後にはまたそういう状態になっていくのでは。人口が増加して住宅が沢山できて増える状態になれば別だが。今もそこまでいっていないから、段階的に言えば一度にやるか何年後かにまたやるかというような形になると思う。

学教課長 例えば、明日は七ツ森小で説明会。その中で、今回の統合に合わせてうちも、と要望が出れば併せて検討も可能。その状況に応じて、地域、PTA等の意見を尊重しながらその他の統合も、七ツ森小の統合も検討はできるとしていきたい。

参加者 前の適正配置検討委員会以降に災害が起きている。私は 1 回では出来ないと思う。段階的になるのは明らかなのか。

学教課長 七ツ森小は、30 年度に児童数が 69 名。教員配置の基準があり、90 人を超えると担任外を 1 人多く配置できる。90 人を割ると担任外の先生の配置がない。1 人ですが、学校経営にすごく大きく支障をきたす部分がある。できるだけ 90 人を超える形で学校経営ができるような形にしたいと思う。安庭小も以前は 90 人以上いたが、2 人減って 88 人になっただけで、去年までいた担任外の先生が配置されなくなった。先生方も非常に大変になる。そういったことも加味しながら検討したい。

参加者 その点では、28 年度以降に色々問題が生じてくるかと思うが、今の教育委員会の方々は果たして残っているのか。

学教課長 適正配置については、非常に重要な項目ですので、随時教育委員会として頭の中に置いて業務を続けていかなければならない。引き継ぎ等、しっかりしなければならぬと考えている。

参加者 私は、七ツ森小と雫石小についてはあまり深く考えないが、これから順次説明会があるから、様々な意見が出てくるはず。それを取りまとめて進めることになると思うが、基本的には今説明した形になるかと思う。

学教課長 検討委員会の中でも 1 校にという意見もあり、当然、適正規模といったことで文部科学省の適正規模の範囲を当てはめると雫石町は 2 校となる。そうすると雫石小を区域変更しないと適正規模の配置ができない。ほかのケースは、雫石小以外の小学校を全部まとめて統合するとか、ただ、それも出来ないかなど。色々悩みながら検討したい。昔からの風土、軌跡、あまりこだわらないと思うが、今まで培ってきた地域、地区という部分を旧町村単位の部分で統合するのがスムーズな形と、教育委員会では考えた。

参加者 統廃合の予算措置というかお金は国から来るのか。自主財源か。

学教課長 国からの補助はない。大規模改造など学校施設整備事業という形で文部科学省からの補助はある。スクールバスは交付税負担があるが、統合の補助金などは特にない。

参加者 それから、スクールバスは民間に委託するものか。

学教課長 スクールバスのほとんどが中学校を対象としており、御所 2 路線と七ツ森が民間、西山線は NPO に依頼と、4 路線が委託。御明神と西根線、矢櫃から上野沢にかけての 3 路線は町マイクロバスで運行。小学校は安庭小の矢櫃便と上野沢便、七ツ森小の小岩井便は町で運行。

参加者 今、上野沢何人いるか。卒業の時期ではないか。

学教課長 2 人、小中学校 1 人ずつ。

学教課長 現在は迂回路を利用しており、冬場は片側開通するとのことだが、すごく不安

な部分がある。上野沢にはワンボックスカーを活用し、スクールバスとして運行している。

参加者 今、老人クラブで下校時の見守り活動をやっている。今日は11時下校で、当番で出た。話を聞くと雫石小の来年度の入学生の検査とか。

学教課長 就学時健診ですね。

参加者 それで11時に帰るという話を聞いた。今年の雫石小は、何人ぐらいか。

田辺主査 来年度雫石小に入る予定児童は、60名。30名ずつちょうど2クラス。

学教課長 ちなみに今の1年生は49名、今年よりは増える。

参加者 今日の説明会に10人は来るかと思ったが、人数的には3~4人。他地区に行けばまた色々な意見が出るでしょうから。とりまとめが大変だと思って聞いていた。

学教課長 色々な意見を一つひとつ解決しながらやっていかなければならないと思っている。非常に難しいことは多々あるかと思うが、子供の教育環境を考えると、やはりこのままでは絶対いけないと思っている。

参加者 せっくなので学力テストの結果について。小学校算数A、B、県の平均以上か。

学教課長 平均以下。

参加者 岩手県のランクが、私の記憶では算数は全国45位ぐらいだと記憶している。その状況で、本町の小学生の学力が、それ以下だとすると非常に危機感を持って取り組むべき問題。やはり上級学校へ進むとすれば、全国はそれ以上なので県平均と比較しても駄目だろうと。結果を見て向上させるためにどのような方策、変わるのか現状維持か、その取り組みについて伺いたい。

教育長 小学校の算数Aは、全国平均ぐらいだったかと。Bは、若干低め。中学校の数学A、Bの順番は今答えられないが点数は、低め。これは全県に渡っての傾向。私も中学校の数学を担当したものとして非常に残念。県では、特にB問題の応用問題に慣れていない面があるかと思う。対策として中間、期末テストにもそれに類した問題を入れていく。今までは、どちらかという中間、期末テストはA問題のような問題が多かった。B問題に触れる機会が少なかったかと思っている。数学ばかりでなく、家庭学習時間についても、宿題はやってもそれ以外に自分から進んで学習、復習は他県よりも少ないかと。意識調査でも出ているので、それらを改善すべく、家庭学習の時間、わかる授業、楽しい授業にしていきたいと取り組んでいる。数十年前に実施したものから比較すれば向上しており、下位といっても平均との差は縮まっている。もうしばらく時間をいただきたい。いずれ、県下の問題、雫石町の問題として考えている。特に雫石町では、誤答分析、小問分析をし、どこが不足だったか、どういう勉強だったかも調査し、子供達の勉強に戻していきたい。

参加者 でも、県教委からもそういった指導は来ているわけですよね。

教育長 全部きている。指導主事、学校長を通じて担当の数学の先生には行っている。

- 参加者 OBの教員の授業は昨年からの取り組みでしたか。
- 教育長 それは、雫石町だけの取り組み。OBの先生に授業を見ていただき、先生に指導する、或いは長期休業中は、直接生徒にも指導するような授業を組んでいる。今回の中学校の全国学力にはあまり影響がなかった気がするが、去年の中学1年生が秋にやったテストでは、それが少しでも効果があったかという結果は出ている。
- 参加者 OB指導者がつくのは3年生だけではないのか。
- 教育長 1年生から3年生まで全部入っている。
- 参加者 今年がいいが、来年になれば卒業してしまう。今3年生、卒業した方には恩恵があったかと思う。果たして教育委員会がどのように判断するか分からないが。
- 学教課長 岩大の学生が、3年生を中心に放課後学習指導を実施。今年は、多くて60名ほどの生徒達が、放課後学習をしている。先日行った時は、学生が2名だけだったが、先生方も一緒に入り、一緒に放課後学習に取り組んだ。たまたま都合がつかず2名だったが、放課後学習には4名ほど来ていると。子供達は年齢が近い部分ですごく勉強に集中できるとのこと。それをできれば続けたい。
- 参加者 やはり技術を使うのですよね、専門科目の。
- 学教課長 いや、まず生徒が自分の苦手な教科をやりながら、疑問な点等を個々に指導する形をとっている。

5. 閉会宣言

- 教育長 本当にお忙しいところお集まり頂きありがとうございます。もう少し来ていただけたらと思っていたが、こちらの周知不足で大変申し訳ない。ただ、今回の適正配置基本計画策定については、子供達の教育環境を第一に考えていくことをご理解いただきたい。複式学級の良さもあるが、同じ年齢の子供達が1学級で、と考え、複式学級が発生しない規模へ。それから、耐震化診断も終了しており、どの学校も十分使えるとのことで、現在の校舎を使用しての統合。雫石町の中で統合しない学校が2校。する、しないに関わらず、雫石町はどこも一体であるという気持ちで適正配置基本計画についてご理解いただきたい。入学生、卒業生が0とならないよう、早めに統合を考える地区があれば、来年度末には統合もできると考えている。